

# 2014年度自己点検・評価報告書(シート)

## 【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

### 《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

### I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

|      |   |
|------|---|
| 対象部局 | 司法研究科                                   |
| 大項目  | 6 授業                                    |
| 中項目  |   |
| 小項目  | 6.0.1 授業計画・準備                           |
| 要素   | 開設科目のシラバスや教材の作成等、授業の計画・準備が適切になされていること。  |
| 小項目  | 6.0.2 授業の実施                             |
| 要素   | 開設科目が効果的に履修できるような適切な態様・方法で授業が実施されていること。 |
| 小項目  | 6.0.3 理論と実務の架橋                          |
| 要素   | 理論教育と実務教育との架橋を意識した授業が実施されていること。         |
| 小項目  | 6.0.4 臨床教育                              |
| 要素   | 臨床科目が適切に開設され実施されていること。                  |

### II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

#### 《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

| 2009年度に設定した「目標」                                | 左記目標の「指標」        | 進捗状況(達成度)評価 |      |      |      |      |
|--|------------------|-------------|------|------|------|------|
|  |                  | 2009        | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 |
| 1. 法律基本科目ならびに実務基礎科目の必修科目と選択必修科目すべての到達目標の明示、公表。 | →各科目の到達目標の決定、公表。 | B           | B    | A    | A    | A    |
|  |                  |             |      |      |      | ☆    |
| 2010年度以降に設定した「目標」                              | 左記目標の「指標」        | 2009        | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 |
|  | →                | /           | /    | /    | /    | /    |
|  | →                | /           | /    | /    | /    | /    |

#### 《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

|     |   |   |   |
|-----|---|---|---|
| 目標1 | A | Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか<br>本研究科執行部および教務関係委員会を中心に全教員で取り組んだ。分野ごとに教員が集まり、それぞれ到達すべき目標について検討をおこなった。  | ☆ |
|     |   | Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か<br>法科大学院協会からの指示範囲に留まらず分野ごとに細分化した到達目標を検討、冊子化し、全学生に配布した。学生は各科目での目標が明確に提示されたことで勉強を進める上での指針とすることができた。本研究科にとっても、この過程を通して、各授業の目的や授業間の連携などについても再確認することができ、カリキュラムの改善にも効果があった。 | ☆ |
|     |   | Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か<br>到達目標については原則として普遍的なものであると考えているが、今後は入学生の学力の状況やそれに伴うカリキュラムの改編などとも連携し、状況に応じた到達目標を検証していく必要があると考えている。  | ☆ |
|     |   | その他   | ☆ |
| 備考  |   |   | ☆ |